



PLUS ULTRA

富キャン Express Vol.23



~ The emblem of HAKUOH UNIVERSITY ~ 白鷺大学足利高校富田校舎広報

The checker means five continents, the stripe means three oceans, and they express the posture that we'll have a good look at the world widely.

上岡一嘉先生からの

メッセージ

教頭 中戸 康平

皆さんが学んでいる富田キャンパスは、今から33年前の1984年(昭和59年)に開設されました。現理事長上岡條二先生のご尊父で、当時学校法人の理事長、足利学園高校の校長、白鷺大学の初代学長を兼務されていた故上岡一嘉先生が、大学進学を目指すキャンパスとして新たに富田の地に開設しました。「大学進学を希求する時代の要請に因應するために、本校にも本格的な大学進学部門を設置して、生徒に学問への高い志を持つてもらいたい」という先生の多年の念願が叶い開設されたのです。

一嘉先生は、学園の母、と言われるたご母堂の上岡た津先生の教育理念を継承し、その上に新たにご自分の教育理念を積み重ね、71歳で亡くなるまで理想とする学校作り一心血を注がれました。本校の校訓「PLUS ULTRA(さらに向こうへ)」は、先生が白鷺大学の第一回卒業生にはなむけとして贈った言葉ですが、中学、高校、大学を擁する今日の学校法人白鷺大学は、先生が旺盛なチャレンジ精神を発揮して、自「PLUS ULTRA」の精神を実践された結果出来上がったと言っても過言ではありません。次の文章は一嘉先生が亡くなる4年前に当時の校報あしがく「第50号(昭和62年12月発行)」に、「生きている」と題して寄せられた文章です。少々長いのですが一部省略しながら原文のまま紹介します。

「長い間の人生に於いて、若くて健康なときもあろうし、傷つき病めるとき、或いは不幸にして最愛の近親者を失うこともあろう。受験やスポーツに勝者と敗者があるように人生の明暗はいたるところにある。しかし、若さとは、ひたむきな努力であり、熱情に燃えるときでもある。敗れるもよし、そこから立上るころに新しい人生がある。

私は若いとき、二度の休学をしたほど健康に恵まれず、暗い青春を送ってしまった。若いころに人言えない事情で悩んだこともあった。現在私は白鷺大学の基礎作り専念している。週2回、教壇に立つ。本も出版する。原稿も講演にも追われることがある。誠に有り難いことと言わねばならない。

私は、もの見方、考え方は二つあると思う。つまり、不平不満で悪い面のみを見てゆく人と、あたりまえのことに深い深い感謝が捧げられ、ものごとの良い面を見てゆこうとする、積極的、建設的な人である。

私は学園の生徒諸君の一人一人に逢つて話し合つ機会がないが、日々新たな気持ちと、自分のおかれている環境に心からの感謝が捧げられる人間に成長してゆけたらそこに生きている喜びが生まれることを生徒諸君に確約できる。」

このような文章です。先生の人生観が窺える文章ですが、当時の生徒に向けた熱い応援メッセージ

と言える内容ですね。今の私たちの心にも強く、深く響いてきます。中でも、「若いとき、二度の休学をしたほど健康に恵まれず、暗い青春を送ってしまった。」と、しみじみと述懐されている部分に私ははっと目が止まりました。どれほどの絶望感だったでしょうか。しかし、先生はそこから立ち上がって、若い頃から志していた学問の道に再び進んで行かれたのです。先生は青春時代のこの経験から、ご自分で綴った文章の中でも、「若さとは、ひたむきな努力であり、熱情に燃えるときでもある。敗れるもよし、そこから立上るころに新しい人生がある。」という、この記述のところを特に生徒に伝えたいかたではないでしょうか。



昭和44年交換留学生と上岡一嘉先生

100周年記念誌作成のために資料を探している時に、当時の校報に載っていた一嘉先生の文章を見つけた。読ませていただく、先生の教育者としての強い使命感と生徒への深い愛情と正直なお人柄が真つ直ぐに伝わってきて、校報に掲載されてから30年も経っていましたが、今更ながらにして強く心を打たれました。そこで、一嘉先生が開設した富田

キャンパスで今日学んでいる生徒の皆さんには是非30年前の先生の思いを伝えたいと思い、「上岡一嘉先生からのメッセージ」と題して紹介することにしました。先生の熱きメッセージの中から皆さんに何かを感じ取ってもらえることを願っています。

姉妹校交流 アメリカから留学生が来校

6月12日から17日まで、アメリカ合衆国ウィスコンシン州にある姉妹校、マティソン・カントリー・デインスクールから留学生6名が来校しました。

留学生たちはそれぞれ、本校生徒の家庭にホームステイしながら授業に参加しました。また、校外学習として日光市を訪れ、東照宮や華厳の滝を見学して日本の歴史や文化を学びました。彼らにとつて、今回の滞在は実際に日本語を使う貴重な機会となりました。

本校とマティソン・カントリー・デインスクールは10年以上に渡って姉妹校交流を続けています。今回の交流を通じて生まれた友情を、これからも持ち続けて欲しいと思います。



東照宮で記念撮影

富田キャンパスへようこそ！

新入生の抱負

楽しい高校生活を
送っています！



進学コース
1年1組
前原 美涼
(館林一中)

高校生活は体どんなものなのだろう。きちんと授業についていけるだろうか、友達はあるだろうか。入学時の私はそんな不安な思いでいっぱいでした。

そんな中、新生活が始まり、あっという間に2か月が過ぎようとしています。親身になってくださる先生方や憧れの存在である先輩方、そして色々なことを語り合い、互いに支えあえるクラスメイト達のおかげで高校での生活はとても充実したのになっていきます。もう、入学の頃の不安な思いはすっかり吹き飛び、今ではこれからの勉強や行事への熱意に変わりがつづいてあります。この校舎で出会えた大切な仲間たちとともに「日々を大切に過ごし、自分の目標達成のために全力で日々前進していきたいです。」



進学コース
1年2組
茂木 祐太
(山辺中)

富田キャンパスでの生活も2か月が過ぎようとしています。僕は入学当初、クラスに友人ができたか不安でいっぱいでした。しかし今では、友人もたくさんでき、楽しい高校生活を送っています。

僕は、男子ソフトボール部に入部しています。最初は部活動をやっていけると勉強時間が減るのではなかと不安がありました。しかし、先輩から時間は作るものがあり、限られた時間をどう使うかが大切だというアドバイスをいただき、入部を決めました。

部活動と勉強の両立は大変な部分もあるかと思いましたが、クラスの仲間、部活動のチームメイトと切磋琢磨し、充実した高校生活を送りたいです。



教室で昼食中(進学コース 1年2組)



進学コース
1年3組
保栖 あい
(呂楽中)

高校生活という新しい環境に期待を抱く一方で、私は友人関係や勉強についてなど、様々な不安を抱えています。

しかし、今では多くの友人を作ることができました。学力を競い合ったり、悩みを相談しあったり、互いを高め合える関係を培ってみたいと思っています。

また、高校での勉強は中学の時と比べて、大幅に難しくなるため、日々の積み重ねを大切にして、毎日の授業、予習、復習に励んでいきたいと思っています。

高校3年間という短い時間の中で悔いが残らないように、様々なことにおいて全力を尽くして、充実した日々を送りたいと思います。



進学コース
1年4組
金井 俊介
(太田西中)

高校受験という初めての進路決定を終え、私はある事を学びました。それは「努力に無駄はない」ということです。受験勉強はとても大変でしたが、精一杯努力したことで、どんどん理解できるようになる喜びを知りました。その時、たとえ結果が良くななくても、頑張った分だけ確実に成長できるのだと実感

感じました。高校生活はまだスタートしたばかりですが、私たちは大学進学という次の目標に向かっていきます。だからこそ、この信念を忘れず、再び第志望の実現を目指して努力していきたいです。そして友人たちと、学校行事や同好会活動などを通して友情を深めたり、一緒に自習室で学習したりと、楽しみながら充実した高校生活を送りたいと思います。



特別選抜コース
1年1組
進藤 蒼愛乃
(山辺中)

「自分を貫く」これが私が掲げる目標です。この自分とは、「妥協しない自分」です。

私の嫌いな言葉に「しようがない」があります。この言葉は、自分自身で限界を作ってしまうと考えます。だから、勉強はもうろん、様々な場面において妥協せず、「しようがない」ではなく「まだできる」と言える自分を貫いていきたいと思っています。

また、高校生活でこれから多くの新しいもの、人に出会います。その中で、常に自分というものを持つて過ごすことはとても重要だと思います。変わらぬ自分を持つことで出来る、発見や成長があります。この先、積み重ねていく経験や出会いを大切に、そして、「自分」という軸をしっかり持ち、有意義な3年間にしていきたいと思っています。



中高一貫教育コース
1年1組
板井 亮太
(白鷲中)

私は中高一貫教育コースの生徒として高校課程に進み、この富田キャンパスでの学習をスタートさせました。中学生時代からしばしば富田キャンパスを訪問していましたが、また、同じ中学校からの入学者も多いため、それ程緊張せずに上々のすべり出しで高校生活を始めることができました。加えて、特選コースの人達とも、徐々にうちとけ、今は、不安な気持ちを抱くことが殆どありません。

しかし、授業は、中学校の時とは大きく異なり、非常に難しく感じます。自転車でも四十分ほどかけて登下校していることもあり、その疲れも重なって、日々、苦勞の連続です。ただ、私は大学進学を強く望んでいるため、どんなに大変な学習であっても、何とかついて行き、自身の進路目標を達成したいと考えています。



中高一貫教育コース 1年1組

新入生歓迎球技大会

3年生は順当に、1・2年生も健闘

5月30日に富田キャンパスグラウンドにおいて新入生歓迎球技大会が行われました。毎年恒例のこの行事は、新入生が上級生に遠慮することなく本気で勝負を挑む場です。今年も球技大会実行委員の選手宣誓から始まり、多くの熱戦が繰り広げられました。上級生の意地もあってか、結果は3年生が圧倒する形になりました。しかし、その中でも男子バスケットボールでは進学コース2年4組が優勝、進学コース1年3組はバスケットボールで男女ともに準優勝などの健闘もありました。多くの生徒が笑顔の一日でした。



ファイト!バレーボールの様子



みんなで準備体操

平成29年度 新入生歓迎球技大会(富田校舎)結果

	優勝	準優勝	第3位
ソフトボール	P3-2	P3-1	P2-4
バレーボール	P3-1	P3-4	P3-2
バスケットボール	男子 P2-4	P1-3	TS2-1、2-2 TH2-1
	女子 P3-2	P1-3	P3-1
ソフトテニス	P3-4	P3-3	P3-1

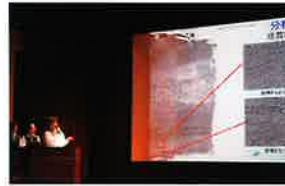
SSH生徒研究発表会

6月8日に、富田キャンパスシールホールで、2年生によるSSHブレ課題研究発表会が開催されました。5月から約1か月間という短期間で、生徒たちは、化学・物理・生物・地学・数学のグループにわかれ、各グループで研究テーマを決め、実験やパワーポイント作りに励み、その成果を発表しました。ブレ課題研究を通して、生徒たちは、実験の計画や実施、スライドでの発表の難しさを学び、それらを活かして、7月からの課題研究に臨みます。また、6月17日には、富田キャンパスシールホールで、3年生によるSSH生徒研究発表会が開催されました。この発表会は、これから本格的な課題研究に取り組む2年生へ向けてのもので、3年生は、

3年生課題研究テーマ一覧

- (1) フクロウの生態調査
- (2) 小麦粉の種類とカビ
- (3) 水陸両用車の開発
- (4) Raising the Birthrate in Sheep Through iPS Cell Transplantation
- (5) スクールリノベーション～足利再興計画～
- (6) ホウレンソウの雌雄分化に関する研究
- (7) 乳孔の開閉に関する環境要因
- (8) 栃木県鹿沼市南摩地区の珪質泥岩層形成史
- (9) 身近な水にひそむ細菌たち
- (10) プロ野球データ論
- (11) 勉強補助アプリの開発について
- (12) カラスの視覚と嗅覚
- (13) ビーマンをおいしく食べるには
- (14) 植物に対する乳酸菌の影響
- (15) ワタラセツリフネソウの発芽条件

発表の様子



昨年の7月から約1年間、連携先の大学協力のもと、課題研究を行ってきました。発表会には、お世話になった大学の先生や来賓の方々を招待し、これまでの研究成果の集大成となる発表になりました。

2年生ブレ課題研究テーマ一覧

- (1) 反発係数
- (2) 様々な液体の波
- (3) 物質や液体による屈折の違い
- (4) 化石の発掘 in GUNMA
- (5) 糖度計の原理
- (6) 粘度と電気伝導性の関係
- (7) 混合水溶液の炎色反応
- (8) 酸性雨について
- (9) 炎色反応
- (10) タンパク質とプロテアーゼ
- (11) 薬の正しい飲み方
- (12) 水草と環境の関係について
- (13) ヒドラ
- (14) 葉の光合成色素の比較
- (15) あなたはきのこ派?たけのこ派?



発表を前に緊張する生徒たち

新任職員紹介



土本 智先生 (英語)

皆さんこんにちは。今年度から英語を担当している土本智(つちもとさとし)です。現在、進学コー



太田 貴宏先生 (英語)

今年度から英語を担当している太田貴宏(おおた たかひろ)です。佐野に生まれ、東京の大学院で英語学を専攻した後に、塾や学校等の教壇に立つ日々を10年ほど過ご



青木 瞳先生 (数学)

今年度から数学を担当している青木瞳(あおきひとみ)です。今年が教員1年目です。中央大学の理工学部で、計算機数学を中心に様々な数学プログラミングを学ん

3年1組の担任と女子サッカー部の副顧問をしています。

私は今年の3月まで、群馬県高崎市にある私立高校で教員をしていました。環境が変わり、戸惑うことも少なくないですが、素敵な先生方やかわいいう生徒達に囲まれて、毎日が充実しています。

英語は社会に出てからも必要とされる重要な科目です。英語を苦手とする生徒は多いと思います。が、わかりやすい授業を展開して、確かな力を身に付けさせたいと思います。よろしくお願ひします。

してきました。「英語を体の一部にして欲しい」がモットーです。

言葉を好きになることは、言葉の背景にある文化を好きになること。文化を好きになることは、その文化圏の人々を好きになることに繋がります。英語の勉強を受験のためだけに終わらせては、もったいないです。多くの人のとの出会いは、多くの可能性、多くの幸せを生みます。英語と共にある人生を一緒に楽しんでいきましょう。

できました。

数学は苦手と思っている人が多いのではないかと感じますが、わかるととても楽しい科目です。皆さんに、「なるほど」とたくさん感じてもらうように私も頑張りますので、よろしくお願ひします。

高校生活の3年間で有意義なものになるように、勉強も、勉強以外のことに、ぜひ全力で取り組んでみてください。

平成29年度 富田校舎 主な大学合格実績

国立大学

71名合格

一橋大学	1名	慶應義塾大学	2名
東京工業大学	1名	上智大学	2名
東北大学	1名	東京理科大学	5名
富山大学	1名	獨協医科大学(医学科)	2名
横浜国立大学	1名	明治大学	2名
千葉大学	1名	青山学院大学	5名
金沢大学	1名	立教大学	5名
宇都宮大学	7名	中央大学	1名
群馬大学	21名	法政大学	8名
新潟大学	2名	学習院大学	6名
北見工業大学	3名	同志社大学	1名
秋田大学	1名	立命館大学	1名
琉球大学	1名	津田塾大学	2名
横浜市立大学	1名	東京女子大学	1名
都留文科大	2名	日本女子大学	1名
高崎経済大学	4名	明治学院大学	3名
群馬県立女子大学	3名	成蹊大学	5名
前橋工科大学	3名	成城大学	4名
秋田県立大学	1名	獨協大学	4名
埼玉県立大学	2名	芝浦工業大学	14名
長岡造形大学	1名	自治医科大学	2名
	他12名	東洋大学	1名
		日本大学	11名
		駒澤大学	12名
		専修大学	3名
		北里大学	5名
		文教大学	3名
		明治薬科大学	10名
		星薬科大学	2名
		東京薬科大学	2名
			3名
			3名
			11名
			11名
			11名

私立大学

2名合格

防衛大学校

443名合格

白鷲大学

199名

早稲田大学

5名

卒業生からの声

志望大学に見事合格した3人の卒業生が、高校生活の思い出について寄稿してくれました。



特別選抜コース 3年1組卒業生 小宮 由信さん (協和中)

東京工業大学 第三類合格

難関大学の合格を目指していた私にとって、富田キャンパスは最適な環境でした。目標を失うことなく学習に打ち込んでくれたのも、友人や先生方のおかげだと思っています。3年生になると学習している成績が下がってきて、定期試験や模擬試験で大失敗したこともありました。常に「落ちるかもしれない」という恐怖と戦いながら勉強を続けました。私は幸運にも合格することができましたが、それは決して自分だけの力ではありません。先生方には志望大学の出題傾向に合わせた個別対策や、助言をいただき、とても感謝しています。多くの人に支えられ、楽しく充実した3年間を過ごすことができました。



進学コース 3年2組卒業生 阿久津 真菜さん (大間々東中)

上智大学文学部フランス文学科合格

富田キャンパスでは、たくさんの方の気の合う友人と素晴らしい先生方に出会え、充実した日々を過ごすことができました。特にCan祭や修学旅行などの行事は、クラスの絆を深めた良い思い出です。私は英語が好きで、校内で募集していた国内や海外の語学研修に参加していました。そついった経験が、「国際的に活躍できる仕事に就きたい」という夢に繋がりました。受験期は辛いことや不安に思うこともありましたが、友人と励ましたり、先生方からアドバイスをお願いしたりして、乗り越えることができました。この3年間で経験してきたことは、これからの人生において大きな「糧」になると確信しています。

新生徒会役員紹介 今年より改定、任期は2年

去年の10月の新生徒会役員選挙において9人の生徒が生徒会役員として選ばれました。今年の10月の役員選挙までの1年間、生徒会として務めることになりました。

副会長の山口慶喜君(太田東中)1名を除き、去年、生徒会を経験した生徒はいませんが、その分皆で協力しあつて良い雰囲気の中、活動できていると思います。任期はあと少しとなりますが、まだ、大きな行事として体育祭が残っています。皆が楽しめる行事になる様に頑張りますので応援よろしくお願ひします。



進学コース 3年5組卒業生 赤坂 陸来さん (邑楽中)

群馬大学理工学部電子情報理工学科合格

3年間を振り返ると良い思い出も辛かった思い出もありました。入学当初不安だった友達との付き合いもうまくいき、修学旅行で訪れたアメリカでは、英語に対する意識が変わる貴重な体験もしました。さまざまなお悩みがある中で、私が一番に残っていることは、センター試験です。思うような点数が取れず、とても悔しい思いをしました。受験に対する焦りや不安が大きかったのだと思います。しかし、その失敗から逃げず、最後まで自分を信じて努力を続けたことで、合格を勝ち取ることができました。今ではセンター試験の失敗も、貴重な経験だったと思えます。富田キャンパスで充実した高校生活を送れたことに感謝しています。

富キャンExpress vol.23 題字の右側のカメの口には富田キャンパス文芸イラスト同好会の生徒の作品です。お忙しい中、原稿・写真等の協力ありがとうございました。

副会長	進学3-4	山口 慶喜
議長	進学3-2	山田 峻士
副議長	特選3-2	高島 海斗
書記	進学3-1	植野 碧
会計監査	進学3-1	早川 友菜
会計監査	進学3-3	安田 昂平
会計監査	進学3-1	仁木 愛菜
会計監査	特選2-1	秋山 柊太
会計監査	中高2-1	久保寺 慧

編集 富キャンExpress係
発行 白鷲大学足利高等学校富田校舎
発行 足利市多田町1067
電話 02884-912633
制作 足利印刷株式会社
発行 平成29年8月26日